

令和5年3月8日(水)

【研修内容】

○外国語活動・英語科授業研究（授業者：堂面 貴洋・黒崎有夏）  
2・3校時 6年生・7年生 「Junior High School Life」

【研修の目的】

○同一教科における小中接続の在り方について、小中学校教員で共通の認識をもつことが出来る。

【単元計画】

第1次 中学校生活でしたいことや頑張りたいことを尋ねたり伝えたりする表現を確認する……………2時間

第2次 中学校生活に関して知りたいことを尋ねる表現を練習する……………1時間

第3次 7年生にインタビューし、中学校でしたいことを考え、英語で書くことができる……………1時間(本時)

【本時の目標】

(6年生) 中学校生活について7年生にインタビューし、中学校でしたいことを、教科書に出てくる表現を参考にして、英語で書き写すことができる。

(7年生) 6年生からのインタビューに対して、適切に応答したり質問し返すことで、会話を続けることができる。

【授業の実際】

6年生は中学校生活について相手意識を持ってインタビューすること、7年生は6年生からのインタビューに応答する際、リアクションや質問を返すことで会話を継続させることを課題として、活動を行いました。6年生と7年生でペアを組んで活動を行い、顔見知りのペアもいれば、初対面のペアもありました。誰とペアになってもお互いに良い印象をもたれるように、それぞれの課題に取り組みました。



ペアを変えながら複数回インタビュー活動を行いました。尋ねたいことを事前に準備していた6年生ですが、既習表現を活用して追加で質問する姿が見られ、7年生はインタビューに適切に回答し、会話を楽しんでいる様子が見られました。また振り返りシートには、交流授業を通して他者意識が高まり、英語学習への動機付けが向上していることがわかる記述もありました。一方で質問によって回答が難しく、沈黙が生まれてしまう、もしくは日本語使用が見られる場面もあったため、やり取りにおける技能面での課題が残っています。

今回の交流授業実践の中で、双方に目的のある場面設定が必要だと感じました。既習事項を生かして他者と交流を図る場面を設定し、主体的な関わり促し教科への学習意欲を向上させ、教科における小中接続を実現したいと思います。